



文責：福田

スコールのような夕方の雨に、少しは暑さもやわらぎ、過ごしやすくなったかな？と感じさせるこの頃です。子どもたちはこの夏もエネルギーに遊び、夏の疲れが出るころです。遊んだら休息を十分にとって、体調を整えましょう。9月は「防災の日」や「救急の日」など身の周りの安全を考える月です。もしも災害が起こったら・もしもけがをしてしまったら・と、ご家庭でも日ごろから話し合い、準備をしておくことが大切です。

～やさしさと助け合いの心を育てる～ 救急の日

9月9日は救急の日です。けがをしたときにどうやって手当をするのかを知ったり、応急手当や、どんな時に救急車を呼んだりするのかを考える日です。当園は青少年赤十字に加盟しています。「世界の平和とみんなで助け合う心」を育てることが目的で、「気づき・考え・行動する」といった主体性を大切にしています。

お友だちを思いやる、困っている人に手を差し伸べる「やさしい心」「命の大切さ」や、これから多様な価値観が共生する世の中になることを見越して「互いを理解し、助け合い、尊重しあう社会作り」を目指しています。まだまだ小さくて理解していくには難しい目標ですが、園内でお友だちとの経験を通して、少しずつ理解してくれるようにしたいと思います。



近頃、雷での事故が増えているように感じます。子どもたちの移動には時間がかかります。外出中の急な雨や、黒い雲には十分注意し、雷の音がし始めたら、早めに安全な場所へと避難をしましょう。

ホクナリンテープ（気管支拡張剤）の取り扱いについて

病院から処方されるホクナリンテープは、皮膚からはがれて床に落ち、子どもが口にしてしまう危険もあることから、今後の取り扱いは以下のように対応して下さい。

- ・ホクナリンテープを貼って登園する場合は、剥がれないように上から絆創膏（キャラクターでないもの）を貼ってください。
- ・与薬指示書は必要ありませんが、お子様が貼っている事を担任へお知らせください。（早出利用の場合は連絡ノートへ記入）
- ・日中に剥がれかかっている場合は、こちらで剥がし処分します。貼りかえは行いません。